

## ■英国：野党保守党、政権奪還を前提にエネルギー・環境政策大綱を発表

2010年までに実施される次期総選挙で政権奪還を目指す野党保守党は、2009年3月11日、最重要課題の一つと位置づける同党のエネルギー・環境政策の大綱を発表した。大綱では「英国は1990年代以降、電気・ガスの自由化政策を進めてきたが、これは低廉・豊富なエネルギーへのアクセスが可能な時代の政策である。エネルギー供給保障や環境問題が危機的な状況に向かいつつある現在、政府のより強い介入が必要である」とし、政策案として、ガス貯蔵量が少ない時期におけるガス輸出禁止、ガス貯蔵量の政策的拡大、炭素回収・貯留プロジェクト（CCS）に対する政府の強いリーダーシップ、欧州排出量取引制度（EU-ETS）における下限価格の設定などを挙げている。保守党のエネルギー・環境政策は今年夏頃に発表される。